

近年、淡路島は人口の高齢化が激しく、はたらく若者世代が島外へ出て行ってしまい人口減少に歯止めが効かないという典型的な過疎になりつつあります。更に老々、認々介護等医療問題が増加し続いています。これらの問題を解決するため、私たちが生活する淡路市も市を挙げて、淡路島外から企業の誘致や人の移住促進に取り組んでいます。

島外からの住民が増えるということは、島外からやってきた人と元々淡路島に住んでいる人が生活をしていく上で、何かしらの関わりを持ちます。

淡路島は、地域連携や仲間意識が根強く、代々近隣の方や自分

と関係のある人との付き合いを大切にしています。淡路出身の私からみても、この特徴は、言い換えれば淡路島の閉鎖的な風習であるとも言えます。

医療界では、医師は「私の医師としての職責と患者との間に、年齢、疾病もしくは障害、信条、民族的起源、ジェンダー、国籍、所属政治団体、人種、性的志向、あるいは社会的地位といった事柄の



人権の眼

No.4 5

医療職から見た「これからの淡路島でのあるべき人間関係」について

長谷川 正史
淡路市立病院 院長
順心会 理事長
リハビリテーション 専門医
総合医療法人 代表

中谷 正史

配慮が介在することを容認してはならない」と言われてきました。その一方で医師は、患者の受け入れ拒否の権利を主張しており、長年、医療専門職は、患者の平等と権利について、やや矛盾する見解をもってきました。拒否の理由には業務過多や専門外などの正当な根拠もありますが、もし患者を拒否するの理由をあげなくてよいとするならば、医師は説明責任を負うことなしに、簡単に差別をおこなってしまふ可能性がありま

す。このような問題は、淡路の人付き合い合

いの特徴にも言えるのではないかと私は考えます。淡路市が地域おこしの為、意欲的な人材を誘致し、新たな発想で地域の活性化の推進や、前述の誘致活動をおこなっていますが、土地、物を提供するだけではその実現は困難と考えます。弱者を支える医療や人口問題を解決する為には淡路島のすべての人がもつと開放的で世話好きになり、移住した人を含め島民一体となって地域連携を深め、その精神を未来へ継承していく必要があるのではないかと考えます。

Pick Up 人権ビデオ

赤の他人はなかりけり

庶民俳人 一茶の句から

小林一茶（1763年～1827年）は、江戸幕藩時代の俳諧文芸に最後のピークを築き、その生涯に約2万句を残しました。しかも被差別民衆の生き方に愛情を注ぎ、差別の現実鋭い批判の目を向けて、数多くの句を作っています。

「花の陰 赤の他人はなかりけり」（桜の花の下に集う人たちは、みんな桜の花が大好きで、共通の目的をもって集まっている。みんなそれぞれに顔も知らないし、みんなそれぞれに違うけれど、「桜

が好き」「桜を愛でたい」という思いは一緒で、そういう意味では全くの他人ではないのだ。という想いが込められているそうです。）

一茶は、長野県信濃町で生まれ、実母と3歳時に死に別れ、継母が8歳の時に来たが、そりが合わなかったようです。15歳で江戸に奉公、25歳頃には俳句を生業として考え始めていたようです。その後、放浪生活を経て、59歳で野尻湖の畔に帰っていったそうです。一茶の生涯と温かい心にこのDVDをとおして、出会って下さい。

■事務局コメント■
一茶には温かい眼で、差別されていた人を描いた句がたくさんあります。一茶の句を楽しんで下さい。



制作：信越放送株式会社

■DVD本編32分

【問い合わせ先】

淡路市市民生活部人権推進課

TEL：0799-64-2521

FAX：0799-64-2565

人権啓発ビデオ (30分程度) 上映会開催しませんか?

各種団体・グループで、上映会をおこないませんか? 出張上映いたします。



◇申込先
市民生活部人権推進課
0799-64-2521

渡邊豊美(北山)

※正解は「みもとちようさ」。
応募総数は70通でした。
□オリジナルバッグ当選者は次の10名です。(敬称略)
植松房子(塩尾) 不動美穂
子(大谷) 柴生よしみ(佐野)
原田英子(生穂) 岡崎かおり(釜口) 猪坂真里(久留麻)
土井信秀(岩屋) 中野美知子(室津) 菅谷碧人(多賀)

中谷悦子(志筑) 松浦美代子(生穂) 西川みえ子(佐野) 震田好生(志筑) 清川裕香(佐野) 岩橋葉子(佐野) 小島千代子(志筑) 花畑雅勝(木曾上畑) 金崎光子(大磯) 川上真奈美(大磯) 田中健(楠本) 坂東美智子(飯屋) 中野ひとみ(岩屋) 井筒麻美(岩屋) 柏木昇三(斗ノ内) 新垣久美子(野島幕浦) 矢野敬子(北山) 地道京子(北山) 菅谷弘(入野) 瀬田友紀子(草香)

第44号のクイズの当選者は次の20名です。図書カードをお送りします。(敬称略)